

事務局だより

SHIGENKAI

一般社団法人

示現会

N02

2020・6・30

樋口前理事長ご逝去のお知らせ

示現会の前理事長樋口洋先生がお亡くなりになりました。闘病生活中ではありましたが、お元気な様子もお聞きしておりました。今回ご逝去の報に驚いております。長年にわたる示現会に対するご貢献に心から感謝申し上げるとともに、お悔やみ申し上げます。

裏面

<特集 1> 7月の研究会

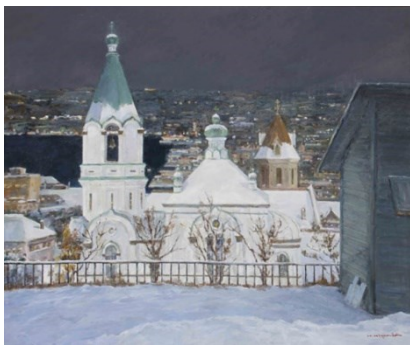
<特集 2> コロナに負けずに！

樋口洋先生のご逝去を心からお悔やみいたします

一般社団法人 示現会 理事長 成田 禎介

樋口洋先生は長い闘病を続けられましたが、症状が急変し、6月11日にお亡くなりになりました。ご家族にてのご葬儀の後16日にご自宅にお帰りになられ、奥様よりお電話をいただきました。

一瞬言葉を失いました。ご本人はご自分なりに出来る限りに絵を描いていく気持ちを持ち続けられていたと、お聞きしました。当日も容態の急な変化ではあったと言われました。病院に入ることはせず自宅でご家族に見守られてのご逝去と伺っております。誠に残念なことで、さびしく思います。心よりご冥福をお祈りいたします。どうぞ安らかに。



第70回記念展 出品作品



懇親会会場で挨拶する樋口先生



第44回日展・内閣総理大臣賞作品

- 1942年 神奈川県に生まれる
- 1967年 示現会展初入選
梶原健三に師事。
- 1973年 示現会会員
- 1975年 日展初入選
- 1997年 日展会員
- 2004年 日展評議員
- 2004年 示現会事務責任者
- 2010年 示現会理事長
- 2012年 日展内閣総理大臣賞
- 2018年 示現会顧問

新型コロナウイルス禍で、全国民自宅での自粛生活をしている中、顧問の樋口洋先生がお亡くなりになりました。自宅で病氣療養中の6月11日のことでした。

先生は平成22年から29年までの8年間、理事長として、示現会を牽引してくださいました。理事長になられる前は、会計主任、事務責任者として20年間、会に尽くされ、まさに示現会とともにの画家生活でした。

一方日展では、早くに評議員になられ最後は理事の要職に就かれました。平成28年の改組新第3回日展では審査主任の大役を果たされ、車椅子で重病と闘いながらの審査は鬼気迫るものがありました。享年77歳、早すぎる旅立ちでした。

事務責任者 井上 武

7月より示現会会館は通常の状態に戻ります。アトリエでの絵画教室も開講されます。詳しくはホームページ「絵画研究所」をご覧ください。なお会館使用につきましては新型コロナウイルス対応になりますので、受講者はまずマスクを持参ください。その他のことにつきましては必ず事務室までお問い合わせください。03-3824-9128

特別委員会

コロナについて

委員長 土田恒夫

示現会展がコロナ感染被害を防ぐ為中止になり、生活のリズムが崩れてしまった人が多いのではないのでしょうか。しかし、今までが何の障害もなく順調に開催し続けることができた事が恵まれていたとも思えるのです。今回のコロナとの遭遇は平穏な生活に慣れ切った私共には何かの警告を発しているようにも思えます。作品を制作するうえで何か意識変化のきっかけになればと思っています。委員会では皆様からのご意見をお待ちしております。

<メンバー> 理事 土田恒夫 宮定真弓 大淵繁樹 渡邊良一 畠山新治 徳田則子
監事 大滝弘子 林勝彦 三杉和子

「新しい活動様式」を模索し具現化へ向けて特別委員会が立ち上がりました。事務局とも連携をとり第74回展をどう開催していくかが課題となります。具体的な提案、アイデア等ありましたら是非お寄せください。連絡先は土田委員長宅また、ホームページ及び会館宛、メール、手紙でも結構です。

国立新美術館開館のお知らせ

嬉しいニュースが届きました。緊急事態宣言の解除に伴い、6月11日(木)より一定の制限のもとではありますが国立新美術館が開館されることになりました。来年春の第74回示現会展に向けては新型コロナウイルス対応策の文書の提出が必要となります。

全てをクリアできるよう事務局では万全の準備を整えます。

さあ、皆さん、今年分まで来年の74回展に向けてよい作品の制作にとりくみましょう。

特集1

7月の研究会 (写真で行います)

非常事態宣言が解除され、日展の開催が決まりました。示現会として日展に向けた研究会を行います。ただし、現在の新型コロナウイルスについては終息したわけではありませんので、今回は作品の写真で実施します。大勢の参加をお待ちします。簡単な下絵を歓迎します。
参加費3000円は終了後になります。

参加の方法

写真の準備

葉書サイズの大きさ
・2作品まで

写真の裏面

氏名・住所・電話番号を書いておく

同封する物

- 自分の住所氏名を書いて120円切手を貼った返信用封筒
- 特に聞きたいことがあれば書く
- * USBメモリーが同封されている場合も同じ

10日消印まで受け付け

送付先

関東地方の皆さん

221-0843 横浜市神奈川区
松が丘 77-14
中西 敦宛

関東以外の皆さん

215-0022 川崎市麻生区下
麻生 1-6-22-508
石田幸嗣宛

写真をデータ化して送る場合

USB メモリーを使用 (8GB 以上)

*メモリーに自分の名前を記載*画像にも自分の名前

写真データ

JPG ファイル
サイズ 5MB 以上が良い

USB ファイルのデータは、パソコン、スマホなどで見るができます。スマホと接続するには、USB OTG という特別な接続コードが必要です。返却時に簡単な使い方を説明したものを同封します。USB メモリーは8GB 以上を用意ください。破損しないように保護した状態で郵送してください。

研究会の持ち方

講師は常務理事が担当します。

- ・示現会館に研究会の会場を設置
- ・プロジェクターで作品を投影
- ・講師がそれぞれの作品について指導
- ・研究会の様子を動画撮影および、メモを取る

参加者に研究会の内容の送付

- ・作品写真をコピーした用紙に内容を記入した物
- ・映像を個人別にUSBメモリーにデータ化した物
- ・同封されていた返信用封筒で送り返します

研究会は7月19日に実施。内容は7月末までに各自に送付する予定です

コロナに負けずに

今回は遠く兵庫から会員の加古さんにお便りいただきました、そして研究所補佐の安藤さんからです。

特集2

「カラス日記」

カア〜カア〜カア〜♪

川のほとり見守り。上から悠々と観察。
去年、台風で将棋倒しの向日葵。
今年は、たぶんいつぱい風にそよそよ。
向日葵ワルツと種を満喫。
モデルにひとつ走りしたお礼だってよ。
友人は草引きと絵で以前より元気。

えっへん。電柱にとまれば画面の主演。

無邪気な雀、慌ただしツバメ、
隠れて発声練習するウグイス。
みんなで空を共有。

では、お空のお散歩へ行ってきました。

皆さんもお元気で！

大空の友だち鳥より
(兵庫支部・加古博美)



電柱とカラスのスケッチ (加古)



おいしい、店自慢のケーキ (安藤)

「厳しい事態を乗り越えましょう」

非常事態宣言が解除されましたが、時々研究所に寄る事が有ります(見回り兼ね)。

3階の扉を開けた時、何とも寂しく悲しい空気が流れて早くコロナウイルスが収束して、大勢の受講者が、この教室を活動してと呼びかけられているようにも聞こえました。私が駒込北口駅のそばに古い建物で、ビルの3階にあつた研究所(示現会)から通い始めてから

45年超えましたが、3ヶ月以上も休講とは初めての経験です。ただ研究所は家賃が発生しないから本当に恵まれていると思います。これも大先輩先生方々の立派な建物を残していただいたおかげと感謝で一杯です。

私が勤めているケ-キ会社も営業自粛により売り上げ半分もいかず国からの給付金が少しあるけど30店舗以上の当社では家賃が重くのしかかりスズメの涙で四苦八苦です。ともあれ前向きにコロナウイルスに負けないよう、何とか雇用が保たれたので、頑張れそうです。

(研究所補佐 安藤義雄)

皆さんからの一言を募集中です。

メール先 佐藤祐治宛 1941sato@gmail.com

なお、示現会のホームページの「メールでのお問い合わせ」でも投稿できます

示現会ホームページ

